

青年核軍縮会議：平和は実現できる

in Geneva, 2月, 2011

参加の御案内

2011年1月7日

スイスのジュネーブの青年とヨーロッパの核兵器禁止世代（BAN g）の青年たちが、2011年2月25、26日、ジュネーブで「青年核軍縮会議：平和は実現できる」を開催します。ヨーロッパを中心に青年たちが集まり、第一に、被爆者の話を聞き、核の被害を学びます。第二に、核兵器条約についての機運や国連での核軍縮議論も学び、いかに核兵器を非合法化するか、その中で青年の果たす役割について議論します。

核兵器廃絶でリーダーシップを発揮している政府・公的機関・NGOの代表がスピーカーになる予定です。各国の青年の活動報告もあり、青年が交流できる絶好の機会です。日本原水協は、ヨーロッパの青年の要請に応え、被爆者と青年を派遣すべく、記念講演をする被爆者1名を募集します。および青年のみなさんの参加をよびかけます。

日程（予定）

- 2月24日(木) 成田出発ージュネーブ着
- 25日(金) 青年会議全体会
被爆者による基調講演／政府代表、NGO 各界によるパネル討論会
- 26日(土) 分科会
- 27日(日) 休憩・観光
- 28日(月) 現地発
- 3月1日(火) 成田着

規模：被爆者1人＋青年2～3名

参加費：25万程度（予定）

航空運賃、宿泊費、朝食代、現地行動費、通訳料など共通経費を含む。

締め切り：1月28日(金)

（御連絡がおそくなったのに申し訳ありませんが、参加希望の方は飛行機の予約がありますので、早めに御連絡ください。）

問い合わせ：日本原水協事務局国際部

Tel:03-5842-6034 Fax:03-5842-6033 Eメール：antiatom@topaz.plala.or.jp

主催者からの企画書

目的：青年に核軍縮についての基本的概要を紹介する。特に、国際的な軍縮措置を支援するため、青年がどのようにして政治的行動を起こし、政策決定者たちとの対話に参加できるかに焦点をおく。また、国際人道法と核軍縮の関係についても議論する。

会議の構成：

日時：2011年2月25日 10時－17時

場所：スイスのジュネーブ

国際開発高等研究所のジャック・フレイモンド講堂

プログラム：

－基調講演：核兵器の人体に対する悪影響について

－パネル討論：

1) 国際社会が核兵器の非合法化に取り組む必要性

(核兵器条約を支持している国連加盟国の機運にも触れる)

2) 最近の国連での核軍縮の主要決議の結果について世界の人々に知らせる必要性

3) 核兵器と NATO の役割

－各国青年の活動報告

－会議のまとめ／成果文書の作成

対象参加者：国際開発高等研究所、ジュネーブ大学、ウェブスター外交大学院の学生

会議開催の理由：2010年NPT再検討会議、国連総会第一委員会、軍縮会議（CD）などでの核軍縮の議論をうけて、各々が国際的な核軍縮の諸措置を支援する必要がある。その結果、世界の人々、特に若い世代は、国際的な軍縮諸措置を支持するよう、それぞれの政府指導者に圧力をかけるために結集しなければならない。

会議の発言者・分科会：

1. 被爆者による基調講演

2. 分科会

A. 核兵器の非合法化：スピーカー候補－クリスチャン・スコエンバーガー、レギナ・ハーゲン、赤十字国際委員会（ICRC）代表

B. 核警戒態勢解除についての主要決議：スピーカー候補－ヘラルド・ミュラー（ジュネーブにある代表部の外交官）、もしくはIAEA代表者

C. 核兵器と NATO：スピーカー候補－オリバー・メイヤーと、スージー・スナイダーなどもう1人